

事業計画書目次

[道路局]

13款1項3目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和7年度		令和6年度		増△減(7-6)		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	道路修繕事業	10,009,606	5,256,490	9,999,226	5,244,959	10,380	11,531	
2	私道対策事業	60,000	60,000	55,000	55,000	5,000	5,000	
3	道路管理カメラ設置事業	80,000	80,000	0	0	80,000	80,000	○
4	街路樹管理事業	1,901,539	1,540,892	1,807,096	1,486,052	94,443	54,840	
5	認定路線管理費	14,652	14,632	15,480	15,463	△ 828	△ 831	
6	公道移管測量助成費	29,160	29,160	32,400	32,400	△ 3,240	△ 3,240	
7	交通安全対策事業	1,195,346	934,358	965,005	706,487	230,341	227,871	○
8	子どもの通学路交通安全対策事業	574,250	566,000	525,000	525,000	49,250	41,000	○
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	
	計	13,864,553	8,481,532	13,399,207	8,065,361	465,346	416,171	

令和7年度 事業計画書

事業局課	道路局	維持課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1	
歳出予算科目	一般会計	13 款	1 項	3 目	政策番号	38 施策番号	1
事業名称	道路修繕事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	10,009,606	10,000	0	4,743,116	1,500,000	3,756,490
令和6年度	9,999,226	10,000	0	4,744,267	1,500,000	3,744,959
増▲減	10,380	0	0	▲1,151	0	11,531

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	10,782,299	9,890,073
	市債＋一般財源	6,055,649	5,135,810
決算	事業費	10,649,003	11,243,377
	市債＋一般財源	5,895,075	6,173,045

令和8年度	令和9年度	令和10年度
10,009,606	10,009,606	10,009,606
5,256,490	5,256,490	5,256,490

事業概要 (アクティビティ)	昭和27年に制定された道路法の第42条に記載されている『道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。』という理念をもとに市管理道路の維持管理を行います。							
-------------------	---	--	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
舗装実施面積	単位	目標	703,446	540,583	503,125	462,259	462,259	462,259	462,259
	m ²	実績	702,905	566,084					
事業指標② (アウトカム)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
YMI：横浜市の舗装 評価指標	単位	目標	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58
		実績	7.45	7.40					

事業目的	<p>【事業目的・必要性】 市管理道路のうち幹線道路では路面性状調査を行い、わだち掘れ・縦断方向の変形など損傷が著しくなっている路面の修繕工事を計画的に実施し、生活道路ではひび割れなどの老朽化が進んでいる路面の修繕工事を実施します。また、住民からの補修要望についても、順次対応する必要がある、生活の基盤をなす道路の維持管理に努めます。</p> <p>【効果】 ・幹線道路⇒路面性状調査実施により道路損傷路面の計画的な修繕工事及び住民からの補修要望についても対応 ・生活道路⇒老朽化が進んでいる路面の修繕工事及び住民からの補修要望についても対応</p> <p>上記により毎年度着実な道路の維持管理を実施しており、市民の安全・経済活動に貢献しています。</p>
------	--

背景・課題	道路は日常生活や生産活動を支える基礎的な資産であり、交通の用に供するという本来の目的を果たすために、常に良好な状態に維持管理されなければならない。
-------	---

根拠法令・方針決裁等	道路法 道路構造令
------------	-----------

根拠・データ等	別紙のとおり
---------	--------

事業スケジュール	<p>年度毎のスケジュールはありません。 (参考：年度スケジュール) 4月：当年度予算再配当 5月：前年度決算 7月：土木事務所ヒアリング(執行状況確認・次年度要望) 7月～8月：次年度予算検討 9月：次年度事業計画 11月：執行状況確認 3月：決算見込調査</p>
----------	---

事業開始年度	
--------	--

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
	1	道路修繕事業 単独事業	9,989,606	9,979,226	10,380
2	道路修繕事業 補助事業	20,000	20,000	0	
細事業合計		10,009,606	9,999,226	10,380	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 本橋 康武	係長 橋本 健太郎	小川名 明代
------------------------------------	-------------	--------------	--------

別紙

【実績及び今後見込み】

【事業費の内訳】

年 度	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(見込)	令和7年度(見込)
工 種	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
工 事 請 負 費	9,706,467	10,243,389	9,006,210	8,933,162
車 道 整 備	8,499,953	9,109,321	7,768,927	7,827,506
アスファルト/コンクリート舗装	5,582,099	5,886,183	5,175,083	5,222,459
アスファルト被覆	2,917,854	3,223,138	2,593,844	2,605,047
歩 道 整 備	348,981	369,813	394,418	325,911
路 肩 整 備	287,565	265,473	338,091	299,422
小規模補修整備	46,550	38,933	55,284	37,249
その他・雑工	523,418	459,849	449,490	443,074
委 託 料	719,164	772,400	742,000	801,000
委託料	718,438	771,859	686,000	793,520
土木防災情報システム(R6はシステム改修等を含む)	726	541	56,000	7,480
原 材 料 費	163,586	164,791	159,000	183,000
事 務 費	59,786	62,797	92,016	92,444
合 計	10,649,003	11,243,377	9,999,226	10,009,606

令和7年度 事業計画書

事業局課	道路局	維持課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	2					
歳出予算科目	一般会計	13	款	1	項	3	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	私道対策事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	60,000	0	0	0	0	60,000
令和6年度	55,000	0	0	0	0	55,000
増▲減	5,000	0	0	0	0	5,000

歳出		令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
予算	事業費	50,000	50,000	60,000	60,000	60,000
	市債＋一般財源	50,000	50,000	60,000	60,000	60,000
決算	事業費	94,313	106,153			
	市債＋一般財源	94,313	106,153			

事業概要 (アクティビティ)	私道対策事業とは、私道整備助成と私道整備の二つの事業から成り、不特定多数の市民の通行の用に供され、公道と同等な機能を果たしている私道の整備を実施し、生活環境の向上に寄与することを目的とします。						
-------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
私道整備助成・私道整備件数	単位	目標	14	12	12	12	12	12	12
	件	実績	22	22					
事業指標② (アウトカム)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
私道整備助成・私道整備面積	単位	目標	2,230	1,836	1,861	2,324	2,324	2,324	2,324
	m ²	実績	4,722	3,836					

事業目的	<p>[私道整備助成] 多数の市民の通行の用に供され、公道と同様な機能を果たしている私道の整備を実施して、市民の申請に基づき、舗装新設工事及び補修工事に対し、その工事費用の10分の9の助成を行い、地域住民の生活環境の向上に寄与します。</p> <p>[私道整備] 不特定多数の市民の通行の用に供され、公道と同様な機能を果たしている主要な私道について、市民の申請に基づき、全額市費でその私道の整備を行い、地域住民の生活環境の向上に寄与します。 主要な私道とは以下のとおりです。 ①公共的な施設等から半径500m以内の私道、または新たに通学路と指定された私道で幅員2.7m以上のもの ②両端が公道に接続していること</p>
------	---

背景・課題	私道については所有者による維持管理が基本ですが、不特定多数の市民が使用する私道においては、本事業を実施することで周辺住民の生活環境が向上していることから、財政状況が厳しい中でも引き続き推進していく必要があります。
根拠法令・方針決裁等	私道整備の助成に関する要綱、私道整備実施要領

根拠・データ等	別紙のとおり
---------	--------

事業スケジュール	<p>年度毎の事業スケジュールはありません。 (参考：年度スケジュール) 4月： 当年度予算再配当 5月： 前年度決算報告 8月： 次年度事業計画 毎月： 各区案件状況確認・予算措置</p>
事業開始年度	私道整備助成 昭和48年度 私道整備 昭和59年度

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
		1	私道整備助成	55,000	51,500
2	私道整備	5,000	3,500	1,500	実績による
細事業合計		60,000	55,000	5,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	本橋 康武	橋本 健太郎	小川名 明代

別紙

【実績及び今後見込み】

※市民からの申請に基づき行う事業ですので、6・7年度予算については見込みの数値です。

〔私道整備助成〕

	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
助成件数 (件)	13	18	19	10	10
延長 (m)	665	784	870	450	460
面積 (㎡)	2,686	2,930	3,276	1,560	1,780

〔私道整備〕

	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
整備件数 (件)	4	4	3	2	2
延長 (m)	183	384	140	75	128
面積 (㎡)	644	1,792	560	301	544

〔事業費の内訳〕

	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
負担金 (千円)	59,870	74,069	97,120	51,500	55,000
工事請負費 (千円)	6,668	20,244	9,033	3,500	5,000
合計 (千円)	66,538	94,313	106,153	55,000	60,000

令和7年度 事業計画書

事業局課	道路局	維持課	新規拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	13 款	1 項	3 目	政策番号	33 施策番号 4
事業名称	道路管理カメラ設置事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	80,000	0	0	0	50,000	30,000
令和6年度	0	0	0	0	0	0
増▲減	80,000	0	0	0	50,000	30,000

歳出		令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
予算	事業費	0	0	80,000	20,000	0
	市債＋一般財源	0	0	80,000	20,000	0
決算	事業費	0	0			
	市債＋一般財源	0	0			

事業概要 (アクティビティ)
 災害発生時の迅速な初動対応・道路啓開を効率的に行うため、緊急輸送路等の状況をリアルタイムで把握する道路管理カメラ設置を行います。
 全市展開していくために、一部の既存の街路灯の灯具を道路管理カメラ付き灯具に置き換えます。
 令和7年度から令和9年度にかけて、市内の主要交差点等に約100箇所の設置を目指します。

事業指標① (アウトプット)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
累計設置台数	単位	目標	0	0	0	40	80	100	100
	台	実績	0	0					
事業指標② (アウトカム)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
主要交差点等の状況確認に要する合計所要時間	単位	目標	2588	2588	2588	1644	538	0	0
	分	実績	2588	2588					

事業目的
 災害発生時の迅速な初動対応・道路啓開を効率的に行うため、緊急輸送路等の状況をリアルタイムで把握する道路管理カメラ設置を行います。

背景・課題
 ・市民意識調査の「今後、充実すべきだと思う公共サービス」において、「地震や台風などの災害対策」が最も多い。
 ・災害対応においては、緊急車両等の通行のため、早急にがれき処理を行う「道路啓開」が最優先される。
 ・情報取得の迅速化、共有の効率化を行うためには、限られたリソースを効率的に投入する必要がある。

根拠法令・方針決裁等
 道路法

根拠・データ等
 ・横浜市防災計画
 災害発生時には、本市が管理する約398kmの緊急輸送路を点検する必要があるため、道路管理カメラを設置することで、迅速な点検作業を実現します。

事業スケジュール
 令和7年度…40箇所に設置
 令和8年度…40箇所に設置
 令和9年度…20箇所に設置

事業開始年度
 令和7年度

(単位：千円)

細事業名称		7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
1	道路管理カメラ設置事業	80,000	0	80,000	事業開始に伴う増
細事業合計		80,000	0	80,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。
 課長 本橋 康武
 係長 橋本 健太郎
 蔵並 悠

令和7年度 事業計画書

事業局課	道路局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	3	
歳出予算科目	一般会計	13 款	1 項	3 目	政策番号	31 施策番号	3
事業名称	街路樹管理事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	1,901,539	0	0	360,647	0	1,540,892
令和6年度	1,807,096	0	0	321,044	0	1,486,052
増▲減	94,443	0	0	39,603	0	54,840

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,757,096	1,757,096
	市債+一般財源	1,443,797	1,440,797
決算	事業費	1,662,241	1,757,282
	市債+一般財源	1,443,797	1,440,797

令和8年度	令和9年度	令和10年度
2,291,228	2,096,653	2,092,883
1,510,000	1,510,000	1,510,000

事業概要 (アクティビティ)	都市の美観を維持し、樹木の健全な育成を図ると共に、歩行者や車両等が安全で円滑な通行を確保するために必要な維持管理、整備等を行う。								
事業指標① (アウトプット)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
高木本数	単位	目標	131,250	131,028	131,137	130,912	130,665	130,478	130,345
	本	実績	131,139	131,325					
事業指標② (アウトカム)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
植樹帯面積	単位	目標	123.80	123.65	123.77	123.60	123.43	123.28	123.17
	ha	実績	123.85	123.89					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹維持管理は、街路樹を良好に生育させ、市民に美しく豊かな緑を提供すると共に、歩行者や車両等の安全で円滑な通行を確保し、事故を未然に防止するために剪定や刈込、草刈等を行います。また、現地調査を行い、樹木の位置情報、樹種などの情報をデジタル化し、剪定履歴や診断結果等と関連したデータベースを蓄積、活用することで、維持管理の効率化、安全性や市民サービスの向上を図ります。 改良等工事では街路樹の大径木化、老朽化や歩道の根上がりなどによる道路交通への影響を解消するため、保全や更新を行います。 倒木対策では倒木などの街路樹に起因する事故を予防するため、樹木診断を実施します。 								
背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹は、人々に潤いや憩いを与えるほか、防災、都市環境や地球温暖化、ヒートアイランド現象の緩和などに役立っています。 街路樹は、道路付属物のなかで唯一の生物であり、生育に合わせた適切な管理が必要です。 								
根拠法令・方針決裁等	道路法、道路構造令、横浜市街路樹要綱、横浜市街路樹設置基準、横浜市街路樹管理基準								
根拠・データ等	街路樹管理数量集計表（令和6年3月）								
事業スケジュール	春～初夏：中低木刈込、春～秋：除草・草刈、春～秋：病虫害防除、秋～冬：高木剪定、植栽、改良工事(その他適宜実施)								
事業開始年度	昭和52年度								

(単位：千円)

細事業名称		7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
1	事務費	1,120	1,120	0	
2	技術研修	138	138	0	
3	倒木対策	134,456	120,883	13,573	労務単価上昇
4	改良等工事	60,000	60,000	0	
5	街路樹維持管理	1,705,825	1,624,955	80,870	労務単価上昇

	細事業合計	1,901,539	1,807,096	94,443	
--	-------	-----------	-----------	--------	--

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	藤江 千瑞	平川 悠也	望月 紀宏

令和7年度 事業計画書

事業局課	道路局	路政課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	4					
歳出予算科目	一般会計	13	款	1	項	3	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	認定路線管理費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	14,652	0	0	20	0	14,632
令和6年度	15,480	0	0	17	0	15,463
増▲減	▲828	0	0	3	0	▲831

歳出		令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
予算	事業費	11,571	13,240	14,652	14,652	14,652
	市債+一般財源	11,563	13,226	14,632	14,632	14,632
決算	事業費	11,185	12,801			
	市債+一般財源	11,174	12,784			

事業概要 (アクティビティ)	道路法に基づき、道路の路線の認定、廃止及び区域の変更を行うための適正な手続き及び認定路線の管理を行います。							
事業指標① (アウトプット)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
議案参考図作成	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	100	100				
事業指標② (アウトカム)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
路線データ更新	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	100	100				
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 道路の路線の認定及び廃止を行うため、議案として市議会に提出する議案参考図を作成します。また、市議会の議決、告示後に認定路線図データの更新作業を行います。 道路の路線の改廃原議など路政課の保有する文書の一部を経年劣化の防止及び文書保管スペースの確保のため、マイクロフィルム撮影を行います。 路線管理システム及び財産管理システムの保守点検と維持管理を行うことで、路線データの管理を適正かつ効率的に行います。 							
背景・課題	道路の路線の認定及び廃止手続は、議会の議決を経なければならないと道路法で定められています。議案の位置を分かりやすくするため、議案参考図を作成します。市議会の議決、告示後に認定路線図等の更新や修正をすることで、市民が最新の認定路線図を閲覧することができます。また、路線管理システム及び財産管理システムは、市民対応、市会議案及び告示データの作成等で使用するため、保守管理と維持管理をする必要があります。							
根拠法令・方針決裁等	道路法、不動産登記法、都市計画法							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 管理路線数 約62,000路線 年度毎改廃件数 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 認定 39本 廃止 84本 区域変更 273本 令和3年度 認定 38本 廃止 90本 区域変更 253本 令和4年度 認定 36本 廃止 127本 区域変更 220本 令和5年度 認定 37本 廃止 156本 区域変更 192本 							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 議案参考図の作成 (年4回 (5、9、12、2月)) 認定路線図データの更新 (年4回 (6、10、1、3月)) 路線管理システム及び財産管理システム、仮想化プラットフォームサーバの保守管理及び点検 (月1回) 							
事業開始年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
	1	路線管理システム及び財産管理システム保守管理費	1,917	997	920
2	委託等事務費	12,735	14,483	▲1,748	路線管理システム及び財産管理システム改修のため縮小実施
細事業合計		14,652	15,480	▲828	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	常盤木 之和	倉品 敏宏	片岡 祥愛

令和7年度 事業計画書

事業局課	道路局	路政課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	5					
歳出予算科目	一般会計	13	款	1	項	3	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	公道移管測量助成費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	29,160	0	0	0	0	29,160
令和6年度	32,400	0	0	0	0	32,400
増▲減	▲3,240	0	0	0	0	▲3,240

歳出		令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
予算	事業費	36,000	36,000	29,160	29,160	29,160
	市債＋一般財源	36,000	36,000	29,160	29,160	29,160
決算	事業費	23,280	19,850			
	市債＋一般財源	23,280	19,850			

事業概要 (アクティビティ)	公道移管に必要な測量費等を助成し、公道移管の促進を図ります。							
事業指標① (アウトプット)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
公道移管測量助成費 助成件数	単位	目標						
	件	実績	9	8				
事業指標② (アウトカム)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
	単位	目標						
		実績						
事業目的	公道移管に伴う測量や公図混乱を解消するための費用を助成することにより、市民の負担軽減を図り、公道移管を促進します。							
背景・課題	公道移管には測量などの費用がかかり、公道移管を希望する市民の負担が大きい。							
根拠法令・方針決裁等	①公図混乱地域内私有道路を市道にするための地図訂正に要する測量費用の助成要綱 ②私有道路を市道にするための測量に要する費用の助成要綱							
根拠・データ等	【執行実績】 ①公図混乱地域内測量費助成 平成25年度 26,368千円（1件）、平成26年度 33,416千円（1件） ②公道移管測量費助成 令和3年度 25,366千円（13件）、令和4年度 23,060千円（9件）、令和5年度 19,610千円（8件）							
事業スケジュール	測量費助成までの事務手続きは次のとおり。 事前調査依頼→助成の可否（事前調査回答書に記載）→測量費助成申請→審査→測量費助成金見積審査結果通知→市道移管作業進ちょく状況報告→測量費助成交付申請書→審査→交付決定通知→請求書→支出事務→助成金支出							
事業開始年度	①公図混乱地域内測量費助成 昭和54年度 ②公道移管測量費助成 昭和50年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
	1	公図混乱地域内測量費助成	3,847	5,703	▲1,856	過年度実績による減
	2	公道移管測量費助成	25,313	26,697	▲1,384	過年度実績による減
細事業合計			29,160	32,400	▲3,240	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	常盤木 之和	倉品 敏宏	片岡 祥愛

令和7年度 事業計画書

事業局課	道路局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	13 款	1 項	3 目	政策番号	28 施策番号 3
事業名称	交通安全対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	1,195,346	0	0	260,988	418,000	516,358
令和6年度	965,005	0	0	258,518	254,000	452,487
増▲減	230,341	0	0	2,470	164,000	63,871

歳出		令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
予算	事業費	839,190	953,548	1,275,586	1,267,586	1,283,586
	市債＋一般財源	557,798	653,534	1,088,528	1,080,528	1,096,528
決算	事業費	797,968	983,904			
	市債＋一般財源	509,323	741,047			

事業概要 (アクティビティ)	防護柵、案内標識、道路照明灯、区画線等の交通安全施設の機能を維持するための補修等を行います。交通事故発生件数及び死傷者数の減少を図るため、交通安全対策の総合的な実施計画を策定し、交通安全運動や交通安全教室などの交通ルールやマナーの普及・啓発活動を行い、市民の交通安全意識が高まることにより交通事故抑止を図ります。							
事業指標① (アウトプット)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
	単位	目標						
		実績						
事業指標② (アウトカム)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
	単位	目標						
		実績						
事業目的	道路法等の関係法令に定められた道路管理者としての責務の履行です。防護柵、案内標識、道路照明灯、区画線等の交通安全施設の補修を行うことで、交通安全施設の機能を維持することができ、利用者に安全な道路空間を提供します。交通事故発生件数・死傷者数の減少に向けて、各世代・対象に合わせた内容の交通安全教育・啓発を効果的に取り組む必要があります。また、季節ごとの交通安全運動や強化月間を関係機関・団体等と連携して実施し、交通ルールやマナーの普及・啓発活動に積極的に取り組みます。							
背景・課題	交通安全施設の累増に加え、高度経済成長期に整備した施設の老朽化が急速に進んでおり、補修を含めた維持管理が必要となっています。令和5年中の交通事故発生状況は、発生件数、負傷者数は前年より増加しており、死者数についても「令和5年度交通安全実施計画」の目標である「年間死者数45人以下」を達成しましたが、前年より増加しています。また、未就学児や児童の歩行中の事故が発生している状況を踏まえ、市民の安全を守るためにも、啓発機会を積極的にとらえて正しい交通ルールやマナー、交通事故の危険性等を伝える必要があります。							
根拠法令・方針決裁等	道路法、交通安全対策基本法、横浜市交通安全対策会議条例							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市管理道路延長：約7,647km(令和6年4月1日現在) スクールゾーン対策協議会要望 横浜市片持式道路標識個別施設計画 交通事故発生件数 横浜市 令和4年：7,492件 令和5年：7,703件 交通事故死者数 横浜市 令和4年：38人 令和5年：40人 子どもの交通事故発生件数 横浜市 令和4年：485件 令和5年：541件 							
事業スケジュール	年度当初に各土木事務所に予算配付をして交通安全施設補修を行います。年度中間時に執行状況、今後の執行予定を確認し、各土木事務所との調整を行い執行管理します。 ・令和6年度：令和6年度横浜市交通安全実施計画策定 ・令和7年度：令和7年度横浜市交通安全実施計画策定 以後、毎年度交通安全実施計画を策定							
事業開始年度								

(単位：千円)

細事業名称		7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
1	補修その他(事務費等)	465	519	▲54	委託費等事務費の減
2	エレベータ等更新	50,500	45,000	5,500	計画に基づく更新工事
3	振出歩道	36,000	40,000	▲4,000	経費の減
4	標識	139,694	79,694	60,000	計画に基づく修繕工事
5	トンネル防災設備更新	40,000	0	40,000	通信規格変更への対応
6	交通安全施設等(防護柵、区画線、誘導用ブロック、歩道、交差点改良、その他工種)	788,734	702,620	86,114	補修・整備対象の増

細事業(事業内訳)	7	交通安全啓発事業	16,203	18,342	▲2,139	契約実績による減
	8	バリアフリー歩行空間	102,200	58,000	44,200	工事費の増
	9	横浜市交通安全協会補助金	21,550	20,830	720	教室回数増加に伴う増
	細事業合計		1,195,346	965,005	230,341	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	藤江 千瑞	熊谷 真之介	永濱 和憲

令和7年度 事業計画書

事業局課	道路局	道路政策推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	13	款	1	項	3
事業名称	子どもの通学路交通安全対策事業					
				政策番号	28	施策番号
						3

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	574,250	8,250	0	0	233,000	333,000
令和6年度	525,000	0	0	0	250,000	275,000
増▲減	49,250	8,250	0	0	▲17,000	58,000

歳出		令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
予算	事業費	0	298,344	574,250	574,250	300,000
	市債+一般財源	0	298,344	574,250	574,250	300,000
決算	事業費	0	285,136			
	市債+一般財源	0	285,136			

事業概要 (アクティビティ)	通学路や生活道路においてビッグデータや事故データ等を活用・分析した安全対策を推進します。								
事業指標① (アウトプット)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
交通安全対策の取組 地区数	単位	目標	0	4	20	25	25	25	30
	地区	実績	0	4					
事業指標② (アウトカム)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
交通安全対策の補修 工事により歩行者等 の安全性が向上	単位	目標	0	4	20	25	25	25	30
	地区	実績	0	4					
事業目的	①交通事故死者数は減少しているものの、生活道路での交通事故件数では減少幅が小さくなっています。 ②スクールゾーン対策協議会等の要望に対する対策に加えて、ビッグデータや事故データ等を活用し、ハンブや狭さく、あんしんカーペルトの設置など予防保全的な対策を面的に実施することにより、交通安全対策に取り組みます。								
背景・課題	全国各地で子どもが犠牲となる痛ましい事故が発生し、市内でも事故が発生しております。 そのような、子どもの交通事故発生箇所などの潜在的な危険箇所に対して、通学路における子ども死亡事故ゼロを目指し、ハード・ソフト面で、早急に対策に取り組む必要があります。さらに、小学校区域を中心とした通学路や局所的に事故が多発している箇所に対しても継続的に交通安全対策に取り組む必要があります。								
根拠法令・方針決裁等	道路法								
根拠・データ等	・ETC2.0ビッグデータ及び交通事故データ等 ・通学路情報 ・交通規制情報								
事業スケジュール	各地区共通 ・(4月/5月) 委託契約・土木・区役所・警察署との調整 ・(6月/7月) 地元調整(スクールゾーン対策協議会含む) ・(8月~3月) 工事の実施								
事業開始年度	令和5年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
	1	ビッグデータや事故データ等を活用・分析した交通安全対策		574,250	525,000	49,250
	細事業合計		574,250	525,000	49,250	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 金澤 英俊	係長 中島 久智	吉田 里子
------------------------------------	-------------	-------------	-------